

群馬大学医学部附属病院肝胆膵外科における腹腔鏡下肝切除の適応拡大と
腹腔鏡下膵体尾部切除の導入について

1. 日時 2022年5月16日（月）11:00～

2. 会場 刀水クラブ（群馬県庁5階）

3. 会見者 群馬大学医学部附属病院

病院長 さいとう しげる
齋藤 繁

副病院長・外科診療センター長・肝胆膵外科教授 しらべ けん
調 憲

4. 会見スケジュール

（1）会見者紹介

（2）記者会見の経緯及び趣旨等のご説明（病院長 齋藤 繁）

（3）群馬大学医学部附属病院肝胆膵外科における腹腔鏡下肝切除の適応拡大と
腹腔鏡下膵体尾部切除の導入について

（副病院長・外科診療センター長・肝胆膵外科教授 調 憲）

（4）質疑応答

5. 詳細内容は別紙のとおり

○記者会見について

群馬大学総務部総務課広報係

TEL：027-220-7010



2022年5月16日

報道関係者 各位

群馬大学医学部附属病院で医療事故が判明した2014年（平成26年）6月以降、みなさまからのご心配の声やご指摘をいただき、病院として様々な改善や改革に取り組んでまいりました。

ご迷惑をおかけしました患者様はじめご遺族に対しまして、深くお詫び申し上げますとともに、改めまして心から患者様のご冥福をお祈りいたします。

また、2016年（平成28年）7月30日には、「第三者による医療事故調査委員会」からの「調査報告書」や再発防止に向けた「提言」が、8月2日には、「病院改革委員会」からの「最終提言」をいただきました。

これらを受け、2016年（平成28年）11月1日には、「群馬大学医学部附属病院：改革への取り組み」及び「改革工程表」として、公表させていただき、これに基づき、改革に取り組んできた結果、こうした取組をご評価いただき、厚生労働大臣から2019年（平成31年）4月1日付けで特定機能病院の名称使用に係る承認をいただきました。

これら取組のひとつとして、外科の診療科を臓器別に再編・統合し、2015年（平成27年）に肝胆膵外科を発足させました。

同診療科では、安全な医療の提供に向けた取組を、段階を踏んで進めており、このたび、新たな低侵襲肝膵切除術を提供することが可能となりました。同診療科の発足後の歩みと低侵襲肝膵切除術について、プレスリリースするものです。

国立大学法人群馬大学

医学部附属病院長 齋藤 繁

群馬大学医学部附属病院肝胆膵外科における腹腔鏡下肝切除の適応拡大と 腹腔鏡下膵体尾部切除の導入について

群馬大学（群馬県前橋市）は、2015年に群馬大学医学部附属病院に肝胆膵外科を新設した。以来、肝胆膵外科では肝部分切除や外側区域切除という難度の低い症例に限って、腹腔鏡下肝切除を行ってきた。2015年に日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医修練施設資格を取消しとなったが、2017年には医療安全・ガバナンスの体制、良好な手術成績を認められ、再認定された。2020年には腹腔鏡下肝切除が100例を超え、成績が良好であったこと、構成員が日本内視鏡外科学会の技術認定資格を腹腔鏡下肝切除で取得したことから適応拡大の準備を開始した。

適応拡大は従来の肝部分切除・外側区域切除からより切除範囲が大きく、難度の高い亜区域以上（亜区域、区域、葉）の肝切除の手術へ適応を広げることである。先行施設の手術見学やご献体を用いたカダバー研修（群馬手術手技研修センター）を経て、プロクター（指導者）を招聘する準備を進めた。一方で、臨床倫理専門委員会、臨床倫理委員会（外部委員を含む）にて承認、患者参加型医療推進委員会における紹介、さらに学長ヒアリングによる許可という学内の手続きを経て適応拡大が認められた。2020年4月より亜区域切除から開始。良好な成績を確認しながら、2021年3月より葉切除に適応を拡大した。

現在、32例の適応拡大手術が施行されたが、重篤な合併症なく安全に施行できている。同様な手続きを経て完全腹腔鏡下膵体尾部切除も導入開始し、12例は安全に施行されている。群馬県下ではほとんど行われていないと考えられる腹腔鏡下亜区域以上の肝切除や完全腹腔鏡下膵体尾部切除が安全に施行され、低侵襲（体に負担の小さい）肝膵切除手術が群馬県民に提供可能となった。

1. 本件のポイント

- 群馬大学医学部附属病院外科診療センター肝胆膵外科において日本肝胆膵外科学会の高難度手術が安全に施行され、高度技能専門医の修練施設として再認定された。
- 腹腔鏡下肝切除の適応拡大のために当該資格の取得（日本内視鏡外科学会技術認定（肝））、病院見学や指導者とのカダバー研修準備の上、病院全体の倫理委員会などで承認され、適応が拡大された。
- 難度の高い腹腔鏡下肝切除が導入、安全に施行されている。同様のステップを経て腹腔鏡下膵体尾部切除も導入、安全に施行されている。

2. 本件の概要

群馬大学医学部附属病院外科診療センター肝胆膵外科において日本肝胆膵外科学会の高難度手術が安全に施行され、高度技能専門医の修練施設として再認定された。その上で腹腔鏡下肝切除の適応拡大のために当該資格の取得（日本内視鏡外科学会技術認定（肝））、病院見学や指導者とのカダバー研修準備の上、病院の手続きを経て承認され、適応が拡大された。難度の高い腹腔鏡下肝切除が導入、安全に施行されている。同様のステップを経て腹腔鏡下膵体尾部切除も導入、安全に施行されている。これらの手術は病院全体の安全管理体制の中で安全性を確認しながら行われている。

群馬県下ではほとんど行われていないと考えられる腹腔鏡下垂区域以上の肝切除や完全腹腔鏡下膵体尾部切除が安全に施行され、低侵襲（体に負担の小さい）の肝膵切除手術が群馬県民に提供可能となった。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課

TEL：070-7594-5570（副課長 田中 博文） 027-220-7895（法規・広報係）

FAX：027-220-7720

E-MAIL：m-koho@jimu.gunma-u.ac.jp